●重点研究

北海地鶏Ⅱの地域ブランド化の取り組みとその技術開発

平成20～22年（3年間）

畜産試験場・十勝農業試験場・食品加工研究センター

共同（協力）機関　（新得町 JA新得町 新得町商工会）

Abstract 概　要

本道農業・農村は、農家戸数の減少や地域産業の低迷から新たな産業おこしが求められています。「北海地鶏Ⅱ」は食味が良く高い評価を得ており、簡易な施設での飼育でき新規参入が容易であり、地域ブランド化に取り組むことは、地域の活性化につながると考えられます。そこで、北海地鶏Ⅱの地域ブランド化に取り組むと共に、新規参入者向けの低コスト導入モデルの実証やブランド化に必要な飼育技術の開発を行いました。

地域ブランド化の初発段階では、地域一体の取り組み体制の整備、生産体制の確立、販路の拡大が重要であることが明らかとなりました。新規参入を促進するための低コスト導入モデル、特色ある飼育法として特別飼育鶏方式（抗菌剤等を含まない飼料で全期間飼育）、地域の特徴を活かしたそば加工残を添加した飼料での飼育に取り組みました。特別飼育鶏方式は、飼育環境が良好な場合では発育等が良好でしたが、飼料コストがやや高くなりました。低コスト導入モデルやそば加工残を添加した飼育は、育成率、発育ともに良好で、地域ブランド化のモデル地区とした新得町での取り組みに活用されています。

Results 成　果

1　現地導入に伴う取組経過と地域ブランド化の課題

表－１　初発段階における検討事項と発展段階に向けた課題

検討事項	現地での具体的な取り組み	発展段階に向けた課題
生産体制の確立 技術習得	飼育マニュアルによる情報提供、畜試の技術支援 地域の特長を活かした飼育基準の設定	通年出荷体制の確立
コスト低減	中古資材、自力労働力等の利用による施設建設	飼育羽数拡大によるコスト低減
経費負担軽減	各種補助制度の活用と町の支援	
食鳥処理	生産者組合による食鳥処理場の建設・稼働	
販路の拡大 認知度の向上	各種イベントでのPRと出展・販売 地鶏フェアの開催、通販サイトによる販売	取り扱い店舗の拡大 通販サイトを活用した顧客の拡大
料理開発	商工会、飲食店の協力と取扱店舗数の拡大	
加工品開発	各種補助制度や外部機関を活用した商品開発	

図－１　中古資材を活用した施設建設

図－２　地域ブランド「新得地鶏」ロゴマーク

図－３　試食会の開催

図－４　商品開発

Results　成　果

2　北海地鶏Ⅱの地域ブランド化に必要な飼育技術の開発

低コスト導入モデルの実証

簡易な鶏舎で初期投資を抑えられます

既存のビニールハウス等を利用すれば、改造費は約64万円に抑えられます。

図－５　ビニールハウスを利用した低コスト導入モデルの内部

表－２　低コスト導入モデルの設置費

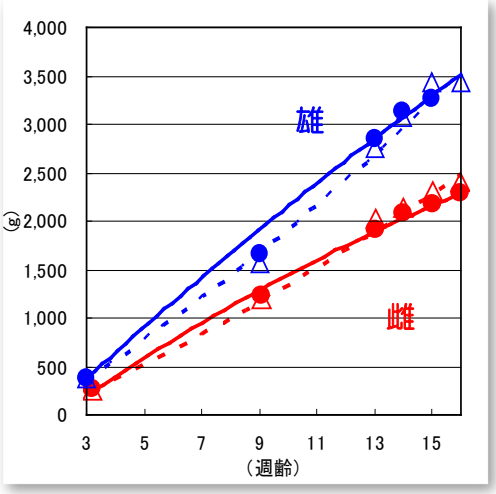
項　目		価格（千円）
耐雪ビニールハウス新規建設費(100坪)		3,000
改造費		638
内訳	内部改造費	325
	飲水関係	39
	給餌関係	62
	簡易育雛装置関係	41
	電気牧柵	171
合計		3,638

特別飼育鶏方式の検討

飼育環境が良好な場合、特別飼育鶏方式と慣行法に発育の差はありません。

しかし、次の点に留意する必要があります

- ヒナの飼育環境の衛生状況によっては、発育・育成率が低下することがあります。
- 飼料要求率が高くなります。　→ 飼料コスト増が見込まれます。



図－６　特別飼育鶏方式での体重推移
実線および●：慣行飼育法
破線および△：特別飼育鶏方式

地域の副産物を利用した特徴ある飼料での飼育

図－７　そば加工残

モデルとした新得町の特産物であるそばの加工時に出る「そば加工残」を飼料に3%添加しました。

- CPが16.5%、MEが3.12Mcal/kgと栄養価も良好で、発育への悪影響もありません。
- 地域性、保存性、扱いやすさから、地域の特徴ある飼料として適しています。
- 配合飼料の消費量が530kg/千羽ほど少なく、飼料費低減効果が期待できます。

Activities　業　績

【発表論文等】
國重享子・小泉徹・山内和律・中村直樹・西村和行・藤川朗・仙名和浩・原仁・山田加一郎（2011）研究成果情報（北海道農業）
【研究成果入手先】
道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要（pdf）を公開。
http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/iippan23.html

Dissemination　普　及

■本課題の成果を基に、飼育マニュアルを作成しました。
■本課題での地域ブランド化の取り組みにおいて「新得地鶏」として商品販売を開始しています。

Contact　問い合わせ

農業研究本部　畜産試験場
家畜研究部　技術支援グループ

【電話】　０１５６－６４－０６２４
【メール】spchikusan@hro.or.jp
【ウェブ】http://www.agri.hro.or.jp/sintoku/